



保健師職能だより



平成28年10月

平成 28 年度滋賀県中堅期保健師コンサルテーション研修会が 始まりました！



『中堅期コンサルテーション研修！レベルアップ目指してがんばっています！』

中堅期コンサルテーション研修は、平成 24 年度より県からの委託を受けて、概ね 10～20 年目の保健師を対象に滋賀県看護協会が開催しています。

今年度の 7 名の研修生は、健康課題から実践テーマを持ち、日本看護協会研修を終えられたコンサルタントの先生方のアドバイスを受けながら、職場の仲間とともに話し合ったり保健師活動を実践したりして、政策提言ができることを目標にしています。

研修では、コンサルタントの方々のアドバイスに困ったり、悩んだりすることがたくさんありますが、職場でも考える機会をもって、中堅保健師としてレベルアップしていきましょう。

『中堅期保健師コンサルテーションフォローアップ研修もありました！』



平成 28 年 9 月 6 日 火曜日開催されました。対象者は平成 24～26 年度滋賀県中堅期コンサルテーション研修修了者および指導者で、参加者は 13 名でした。

フォローアップ研修は、中堅コンサルテーション研修終了後の活動を振り返り、中堅保健師の役割の再認識と実践力の向上を目指すこととしており、野洲市高齢福祉課・公益社団法人滋賀県看護協会第一副会長 今堀初美氏を講師に迎え、中堅保健師に期待される能力について、自らの活動実践事例を振り返り、その中で重視した視点をお話いただきました。失敗から学ぶ職場風土作りの先導的役割を担うこと、現場保健師活動の要として多職種・仲間への配慮すること、立ち位置の自覚とコミュニケーション能力の重要性等、中堅者にむけて発信いただきました。

「地域包括ケアシステム推進に果たす中堅前期保健師の役割」研修会を開催しました！

中堅前期保健師 4 年目～10 年目が対象で、7 名の参加者でした。

講師は、滋賀医科大学医学部看護学科・坂東春美先生で、「今日皆さんに大切にしたいことは、自分自身を振り返って欲しいこと。日々、忙殺されている中、自分自身を大切に自分に向き合い、元気になって帰ってもらいたい。」と語られ、ワークやグループワークを 5 回組み入れられた興味深い研修でした。

- ・ 専門性を追求すると、周囲が見えなくなる一面がある。俯瞰的に物が見られるか。住民の姿に心を揺さぶられたことで主観的になる一方、冷静さがなくなり思考が奪われることもある。冷静になり、客観性を持って、仕事ができただか。
- ・ 効率性に走ってはいけない。手段が目的に変わってはいけない。一旦立ち止まり、具体的なことを抽象化する。
- ・ 地域包括ケアシステムについて、自助・互助が膨らむように、住民は最後まで自分のことができることが自信になり尊厳になる。自分のまちに置き換えて地域づくりをして欲しい。





【アンケート結果】

- 満足度の高い研修でした。今後に活かせると回答された方が多かった。
- 講演会の感想として、実技の時間が多く、テーマである「自分を振り返る」ことができた。地域包括ケアシステムについて、自助・互助、地域活動をしていかないといけないという今、自分がしないといけないことがわかった。
- グループワークでは、一緒に考え、取り組む行程を経験することが出来た。計画が多くても駄目、試行錯誤しながら作り上げていくことが大事。試行錯誤の中で連携が生まれると実感した。協働・協同して計画し、みんなで作り上げることは日々の活動とつながっていると気づいた。
- 今後の活動に活かせるものは、保健師として自分が今後どのように自分と向き合っていけるか、毎日の業務と切り離して考えられた。



職能委員会よりお知らせ



☆統括保健師会議および研修会☆

日時：平成28年11月7日（月）13:00～17:00

場所：滋賀県看護研修センター

対象：統括保健師、統括保健師補佐

内容：統括保健師の役割を果たすために

講師：京都看護大学 特任教授 堀井とよみ 氏

報告者：平成27年度市町統括保健師研修会参加者（草津市・栗東市・甲賀市）

締め切り：平成28年10月28日（金）



☆保健師職能集会☆

日時：平成28年12月23日（金・祝）10:00～15:00

場所：滋賀県看護研修センター

内容：保健師のキャリアラダー/キャリアパス
ポイントと今後の活用について

講師：日本看護協会保健師職能委員長 中板育美 氏

滋賀県健康医療福祉部健康医療課 福井美代子 氏

締め切り：平成28年12月5日（月）



黒橋委員長

皆さんの予定を空けておいてください！

